

作成日 2018/07/11
改訂日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 男前モノタロウ 排気系シールに使える押し出し性の良い高耐熱シリコンガスケット
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
整理番号 M180725

2. 危険有害性の要約 GHS分類

物理化学的危険性 引火性液体 区分外
健康有害性 皮膚感作性 区分1B
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(呼吸器)
環境有害性 水生環境有害性(急性) 区分3
水生環境有害性(長期間) 区分3
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 警告
危険有害性情報 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き
安全対策 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
応急措置 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
(P302+P352)
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
(P314)
皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。(P333+P313)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364)
廃棄 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ポリアルキル(C1~20)シロキサン	10~19%	不明	不明	不明	63148-62-9

N, N', N''-[（ビニルシラントリイル）トリオキシ]トリブタン-2-イミン	5～9%	不明	(2)-2038	既存	2224-33-1
3-アミノプロピルメトキシシラン	1～4%	不明	不明	不明	13822-56-5
酸化鉄	5～9%	Fe2O3	(1)-357,(5)-	既存	1309-37-1

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合
皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。付着した製品を除去し、直ちに水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受け少量でも眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受けること。

眼に入った場合

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状
応急措置をする者の保護

特になし

救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤
使用してはならない消火剤
特有の危険有害性

大型の火災
小型の火災

泡消火剤、粉末消火剤、水噴霧
炭酸ガス、粉末消火剤、水噴霧
情報なし

火災或いは非常な高温状態で、本製品は金属酸化物、一酸化炭素、不完全燃焼炭化物、窒素酸化物、フォルムアルデヒド、二酸化ケイ素などの有害分解物を放出することがある。

特有の消火方法

地方の緊急対応プランに基づき必要であれば避難或いは隔離する。水噴霧で火災に暴露した容器を冷却を持続する。

消火を行う者の保護

大型の化学品を巻き込んだ火災の消火に当たっては自給式呼吸保護具と保護衣を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具（『8. 暴露防止及び保護措置』の項を参照）を着用する。

環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

廃棄するために、ふき取る或いはすくい取って回収する。シリコン化合物は少量でもスリップする危険性があるため、漏洩したエリアを洗浄する。

洗浄のためにはスチームの使用や、溶剤や洗剤を用いる必要があります。

二次災害の防止策

製品を吸着させた或いは洗浄の材料を含んだ廃棄物は自己発熱する可能性があるため適切に燃焼焼却する。すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い	技術的対策	適切な換気装置を用いること。本製品は水或いは湿った空気の曝露によりメチルエチルケトオキシム (MEKO)を放出する。また同様に水或いは湿った空気への曝露で引火性のメタノールを発生する。セクション8に規程する濃度に押さえるために使用中換気を行う。
	安全取扱注意事項	取扱い後は良く手を洗うこと。この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。眼、皮膚への接触を防止し、飲み込まない、吸入を避ける。
保管	安全取扱注意事項	出来れば局所排気装置等を設ける。
	混触禁止物質 保管条件 容器包装材料	情報なし 容器を密閉して水分や湿度を避けて保管する。 情報なし
8. ばく露防止及び保護措置 ばく露限界 管理濃度・作業環境評価 基準 許容濃度(暴露限界値、生 物学的暴露指標)		設定されていない。 設定されていない。
	日本産業衛生学会 (2012年度) ACGIH(2012年 度)TLV-TWA	200ppm、260mg/m ³ 200ppm、250mg/m ³
保護措置	TWA STEL 呼吸器の保護具 手の保護具	水或いは湿度との接触により生成するメチルエチルケトオキシムのメーカーガイドライン 3ppm 10ppm 適切な呼吸用保護具を着用する。 ブチルゴム、天然ゴム、ニトリルゴム、ネオプレンゴム製の耐化学薬品保護手袋を着用する。
	眼の保護具 皮膚及び身体の保護 具	少なくとも、保護眼鏡を着用する。 皮膚接触を防止する適切な保護衣を着用する。
設備対策 衛生対策		適切な全体排気設備および局所排気設備を用いる。 取扱い後はよく手を洗うこと。 取扱い場所の近傍では飲食、喫煙の禁止。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
9. 物理的及び化学的性質 外観	物理的状態 形状 色	固体 スラリー(消防法液体) 銅色
	臭い 臭いのしきい(閾)値	かすかな臭い データなし
pH 融点・凝固点 沸点、初留点及び沸騰範 囲 引火点 蒸発速度 燃焼性(固体、気体)		データなし データなし データなし 93.3℃以上 (タグ密閉式) データなし データなし
	燃焼又は爆発範囲 下限 上限	データなし データなし データなし
蒸気圧 蒸気密度		データなし データなし

比重(密度)		1.04g/cm ³ (20°C)
溶解度		データなし
n-オクタノール/水分配		データなし
係数		
自然発火温度		400°C
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし
その他		
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		通常の取扱いにおいて安定
危険有害反応可能性		危険有害な重合反応は起こさない
避けるべき条件		湿度
混触危険物質		酸化剤、水、水分
危険有害な分解生成物		湿度、水分との接触によりメタノール、メチルエチルケトオキシムを生成する。 燃焼或いは非常に高温な状態下で、金属酸化物、一酸化炭素、不完全燃焼炭化物、窒素酸化物、フォルムアルデヒド、二酸化ケイ素などの有害分解物を発生する。
11. 有害性情報		
急性毒性	経口 経皮 吸入	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		眼区分1の成分合計が9%のため、区分1に該当。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		(呼吸器感作性) データ不足のため分類できない。 (皮膚感作性) データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性発がん性		データ不足のため分類できない。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
生殖毒性		(生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分外に該当。 毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分外から分類できないに変更。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1(呼吸器系)の成分が9%のため、区分2(呼吸器系)に該当。
吸引性呼吸器有害性		動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

12. 環境影響情報			
水生環境有害性(急性)			(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。
水生環境有害性(長期間)			(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分外に該当。 毒性未知成分を含有しているため、区分外から分類できないに変更。
オゾン層への有害性			データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意			
残余廃棄物			廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装			容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意			
国際規制	海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code.	非該当 Not applicable Not applicable	
国内規制	航空規制情報 陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質	非該当 非該当 非該当 非該当 非該当	
緊急時応急措置指針番号	航空規制情報	非該当	
			133
15. 適用法令			
労働安全衛生法			名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 危険物・爆発性の物(施行令別表第1第1号) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)
消防法 外国為替及び外国貿易法			酸化鉄(政令番号:192)(5%-9%) 第4類 引火性液体 第三石油類(非水溶性) 輸出貿易管理令別表第1の14項
道路法			輸出貿易管理令別表第1の16の項 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本 高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第 2)

16. その他の情報
参考文献

製造元メーカー提供資料
NITE GHS分類結果一覧
JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法
JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報
の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス
日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム
「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、
取扱いには十分注意して下さい。